

テーマ	子どもの居場所の提供
区市町村	江東区
児童館名	豊洲児童館
活動名	中高生タイム
目的	中学生・高校生の地域の居場所となり、地域の中学生・高校生の心の成長の手助けをする。地域、社会、異世代との関わりのきっかけづくり行い、社会性を育む。
主な対象	中学生・高校生
活動の経緯 実践内容	<p>【活動の経緯】 児童館の区所管課で、平成25年2月に児童館の今後のあり方を定めた「児童館に関する運営方針」を策定した。その運営方針の中で児童館事業の充実を図るものの1つとして、「中学生・高校生支援の充実（中高生の居場所づくり）」が位置付けられた。</p> <p>平成28年度には豊洲児童館が区内児童館の中でも、中高生支援事業に積極的に取り組む館に選出され、中高生の居場所となるよう中高生支援事業の充実に取り組むこととなった。</p> <p>【実践内容】 かねてより豊洲児童館では17時から18時までの間、中高生が優先で利用できる中高生タイムという事業に取り組んでいたが、部活動で積極的に活動している中学生・高校生等も利用しやすいよう、平成29年度より曜日の閉館時間を1時間延長し、中高生タイムを充実させた。</p> <p>中高生タイムでは、バンド練習や、卓球、ダンスの練習、おしゃべり等、中学生・高校生が、自由に過ごすことができることができる居場所を提供している。</p> <p>また、イベントに関する、具体例としては、令和元年12月18日（水）に「中高生お楽しみ会」を開催。20名以上の中学生・高校生が、児童館の運動スペースである集会室にて布ドッジボールで汗を流した後に、ピザを作って食べたりしながら交流を楽しんでいた。</p>

<p>効果や課題</p>	<p>小学生から利用していた児童が中学生に進学した際に、ゴールデンウィーク明けになると中学校の部活動が本格的に始まる。通常の閉館時間は18時のため、小学生から児童館を利用してしていた児童も、部活動に積極的に活動している児童は引き続き利用することが難しくなった。しかし、毎週水曜日に閉館時間を1時間延長したことにより、部活動に本格的に取り組んでいる児童も部活動が終わった後等の空き時間に来館しやすくなり、中学生・高校生から好評を得ている。</p> <p>課題としては、来館する中学生・高校生が固定化されている傾向があるため、児童館の利用がない、または少ない中学生・高校生向けに、児童館が中学生・高校生の居場所であるという更なるPRが必要であると考えます。</p> <p>また、居心地の良い居場所の提供には、中高生たちの心の成長があってはじめてできることであり、小学生から中学生へとなり社会性、自立心が芽生え始める中、上手く切り替えができる子とできない子では、児童館を居心地の良い場にする機会に差が出る。児童館として利用時間の延長や飲食スペースでのカードゲームや卓球のダブルスなど、小学生時代とは違った利用方法や自主性を尊重した活動をより多く提供していきたいが、自由だけを主張し、ルールを守ろうとしない子どもたちには、無秩序な場になってしまう。そうした子たちにも本当に心地の良い居場所になることが課題であり、関わり続けていくのが職員の仕事であると考えます。</p>
<p>活動写真</p>	

児童館のプロフィール

<p>児童館名</p>	<p>豊洲児童館</p>
<p>運営主体</p>	<p>公営</p>
<p>所在地・電話番号</p>	<p>江東区豊洲4-10-4-111</p>
<p>開館日・時間・休館日</p>	<p>(開館日) 火～土、こどもの日 9:00～17:00 第二・第四日曜日 9:00～17:00 (ただし、夏休み・冬休み・春休みは18:00まで) (休館日) 第一・第三・第五日曜日、国民の祝日(こどもの日を除く)、月曜日、国民の祝日が月曜日に当たるときはその翌日、年末年始</p>